



富士フイルム社製
「AMULET Innovality」

薬事認証番号224ABBZX00182000

<装置の基本情報>

世界中の女性の笑顔を守るために。

AMULET Innovality –FUJIFILMが、革新(Innovate)技術でマンモグラフィ検査の品質(Quality)を追求しました。

FUJIFILMオリジナルa-Se直接変換FPDを搭載し、低線量化を実現、また新画像解析技術を搭載したi-AECの併用で乳房ごとの線量最適化を実現しました。

FUJIFILMは、「AMULET Innovality」で質の高い検査と診断画像を提供します。

マンモグラフィを、もっとやさしく、もっと診やすく
最適線量で、高精細画像を提供
受診者の気持ちに寄り添ったHarmony機能

<装置の特徴>

直接変換方式FPD最小画素サイズ $50\mu\text{m}$ により、微小石灰化の描出能を高めました。また、線質補正を行う画像処理に線量低減と高鮮鋭な画像を両立できるノイズ抑制処理を加えることで、さらに約30%の線量低減しても同等の画質であることを確認しています。

乳がんについて

壮年層女性のがん死亡原因のトップ

今、日本女性の12人に1人が乳がんにかかるといわれています。亡くなる方は年々増加し、今では1年間に約1万3千人。ここ30年の乳がんの急激な増加は、食生活やライフスタイルの変化がエストロゲン(女性ホルモン)の分泌に影響しているためとみられています。

乳がんは女性の壮年層(30~64歳)のがん死亡原因のトップになっているにもかかわらず、無関心な人が多いのも現状です。

最もかかりやすいのは40代

「乳がんはまだ私には関係ない」と思っていませんか？乳がんにかかる人は30代から40代にかけて急増します。

ピークは40代後半~50代。「閉経後は大丈夫」「50歳過ぎたら乳がんにならない」ということはありません。

また、若いからといって油断はできません。乳がんは何歳でもかかる可能性があります。

家族や親戚に乳がんがない、出産・授乳経験があるから大丈夫。ということもいえません。

つまり、乳がんにならない、といえるひとは一人もいないのです。

早期なら約90%が治癒します

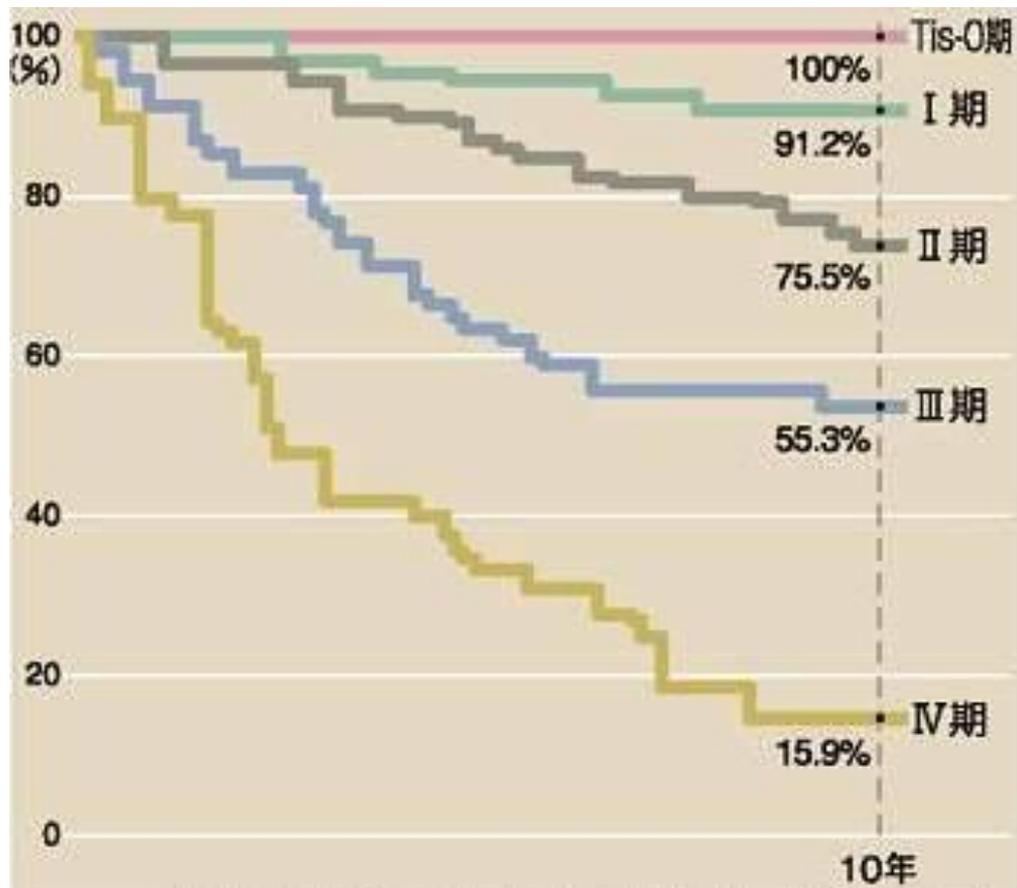
残念ながら、現在乳がんの予防法はありません。しかし早期発見であれば、約90%の人が治癒します。

決して怖い病気ではありません。早期発見のために、検診が大切なのです。



乳がんは、早期発見で治るがん

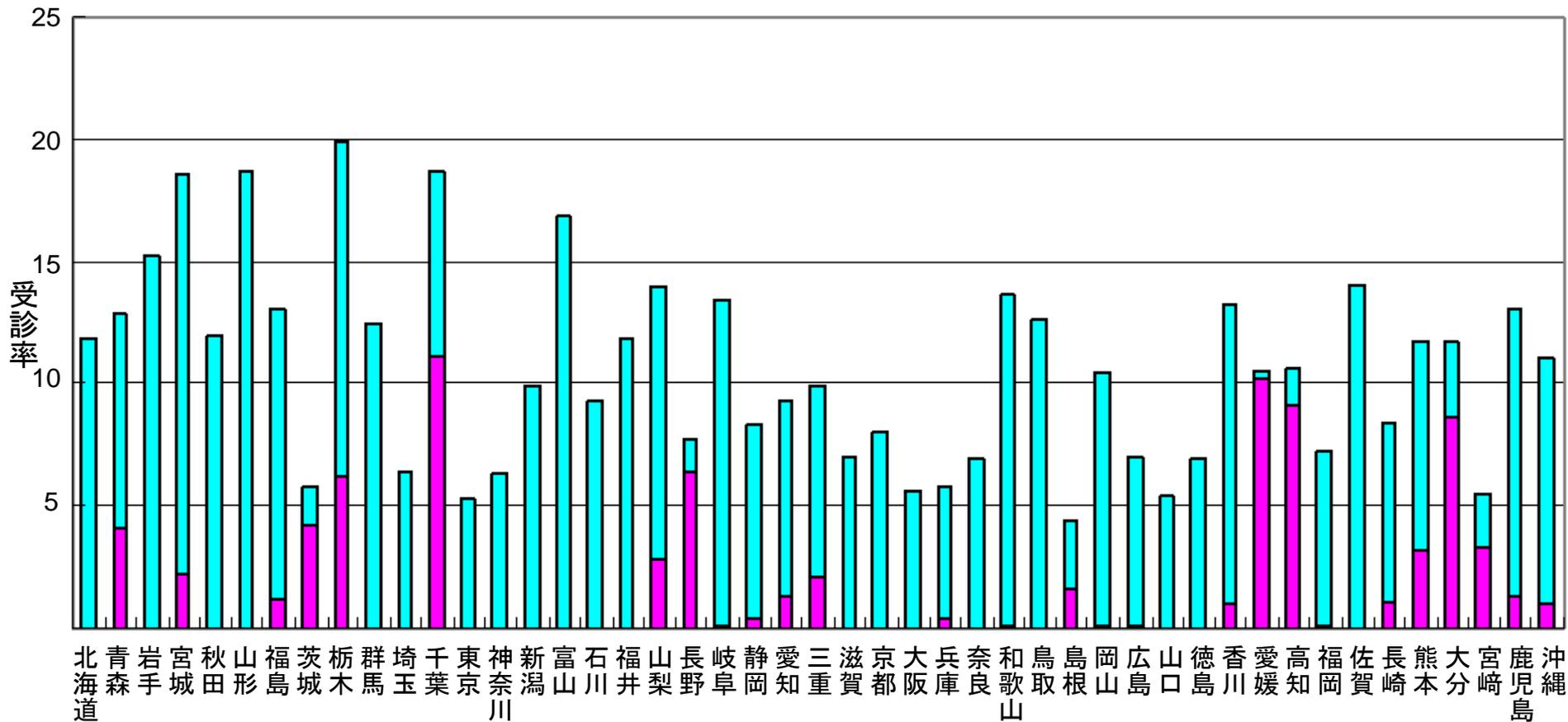
早期なら治る確率が高い(ステージ別生存率)



検診による早期発見

アメリカの文献によると、50歳以上の年代で検診開始後10年経過の時点で、死亡率低減効果が17~30%程度認められています。

都道府県別 乳がん検診受診率



出典:平成20年度政府統計の総合窓口より